

The image consists of two main parts. The upper part features the characters '童年' (Childhood) written in a bold, expressive, cursive-style font. The lower part shows a group of approximately 20-25 children in a variety of poses, some running, some sitting, some holding hands, all appearing to be in a joyful playtime setting.

かぜ ひかる 2013年5月号  
全国福祉保育労働組合東海地方本部  
〒456-0006  
名古屋市熱田区沢下町9-7  
労働会館東館405  
TEL 052-881-297  
FAX 052-881-2998  
e-mail fukuhotk@onyx.dti.ne.jp  
<http://www.fukuho-tokai.jp/>  
発行責任者／安藤 光枝

# Welcome 仲間をつなぐはじめの一歩



グリーンフェスティバル大成功！

新入組合員のあつた分  
会・小林さんと原田さん  
も「みんな元氣で明るく  
楽しそうなところだと想  
いました」と感想を寄せ  
てくれました。

最後に新入組会員を代表して、田代分会の後藤さんと橋本さんが「たくさん仲間がいる」とが分かった」「よりよい労働環境を作っていくために、一致団結してがんばりましょう」という元気の出る決意表明をしてくださいました。

い一步がありました。この間昭天瑞支部がつながりを作つて、という共同作業所の方々が、パンを屋台で出してくれました。さらに「何だか街」みたいですね」と後半の交流企画にも参加してくれました。「組合を知る会をグリフェスまでにとりくもう」「未組織職場の人もグリフェスに誘えないか」と「グリフェスを組織拡大の山場に」という意識が各支部・分会にしっかりと根付き、一歩ずつとりくみを進めることで、今年のグリフェスも大きく成功させることができました。

5月11日（土）に労働

にも伝えたい」と実行

一步がありました。

「風の音」

5月11日（土）に労働会館東館ホールにて、新入組合員歓迎会「グリーンフェスティバル」が盛大に開催されました。当日は新入組合員87名を含め244名の参加で大いに盛り上がりました。

### △仲間をつなぐ

この日に向かい、各分会から実行委員が集い、会議を重ねてきました。

にも伝えたい」と実行委員長も今年2年目の組合員が名乗り出てくれました。「いつもして職場を超えて、世代を超えてつながりができるています。

A black and white photograph showing a large group of students in a school hallway. Many students are holding hands, forming several small circles or a large collective loop. They appear to be participating in a group activity or a dance. The hallway has lockers and bulletin boards in the background.

い一步がありました。この間昭天瑞支部がつながりを作つてきた「ほつとはむ」という共同作業所の方が、パンを屋台で出してくれました。さらに、「何だか街コンみたいですね」と後半の交流企画にも参加してくれました。

「組合を知る会をグリフエスまでにとりくもう」「未組織職場の人もグリフエスに誘えないか」と

クの女の子の出来事です。子どもたちは最近、朝の時間に自分の好きな絵本を「読んで」と持つて来たり、一人でじっくり見てみたり、お友達同士横に並んで絵本を見たりしています。その日は、クラスでも人気の絵本「ルルちゃんの靴下」を一人の子が持つて来ました。読み始めると他の子も集まり4人の子が一緒に見ていました。その絵本の中の女の子を指さし「この子は誰かな?」と聞くとSちゃんが「Sちゃん」と言いました。すると他の子も指さし「Aちゃん」「Yちゃん」と同じようにと嬉しそうに答えました。それからはというと読むたびに絵本に出てくる二つ結びの女子は周りのお友達も「Sちゃん」

## 〈田代保育園分会〉

### ～全員の要求を一つに～

私たち田代保育園分会は、春闘で要求を出すために、1月に分会員全員にアンケートを配布しました。アンケートの中身は、「正職の要求・パート職員の要求・その他自由に…」という項目を設け、提出しやすいように毎回無記名で提出してもらっています。そのアンケートをもとにして、分会の中で話し合い、今年度の春闘要求は次の4つの要求で決定しました。

①調理員の給与をB等級にして下さい…現在はC等級2号俸UPですが、やはり保育士と同じように子どもたちの命を預かり、保護者と共に子育てをするパートナーとしての役割は、大変大きなものであり、また保育園の運営や保育運動に関わる取り組みも保育士と同じように担っているため、B等級を要求していこうとなりました。

②インフルエンザ予防接種の費用を全額保障



してください…現在は園が二千円保障しており差額は個人負担です。しかし、摂取しなくてはいけないものとされているので、全額保障してくださいという要求になりました。

③夏季休暇を5日にしてください…現在は夏季休暇3日です。しかし、東海地区の労働条件一覧で確認すると、他園でも夏季休暇3日の園は数少なく、また3日では短すぎるという思いで決まりました。

④パート職員の基本賃金として、時給1000円を保障してください…現在パート職員の賃金は1年目850円、2年目以降900円です。しかしこの賃金では生活するのも厳しく、子どもの命を預かるという面では正職と同じであります。また、パート職員の方たちの存在はとても大きいものであり、私たち正職が有給休暇や生理休暇をしっかりと取れるのも、パート職員の方たちが代わりに保育に入ってくれているからです。今回はパート職員だけでの話し合いの場も持ち、要求をかためました。

## ～要求は握って離さず～

しかし、要求も決まり要求書を提出する前に、新年度の0歳児入園児が少なく、法人内で格付け職員2名分の保障をしなくてはいけないことが分かりました。私たちも「みのりの会」の法人職員として何かいい案がないか考えなくては…という思いもあり、果たして要求書を提出していくべきかと分会内で話し合いもしました。

その結果、法人のピンチもみんなで考えていくけれど、やはり要求は要求として提出しようという意見が多かったので、3月末に要求書を提出する運びとなりました。現在は5月末に理事会との懇談を申し込む予定しており、懇談の際に理事の方たちに私たちの要求をより理解・納得して頂けるように、資料を作成中です。今後も懇談に向けて分会で話し合い、よりよい労働条件になっていくよう、分会員一同団結して頑張っていきたいと思っています。

田代保育園分会 分会長 吉崎貴恵



## 13春闘で要求実現に一步近づこう ～二つの分会のとりくみに学ぶ～

## 〈天白福祉会分会〉

### ～一人の矛盾からの出発～

天白福祉会には「準職員」というポジションがあります。これはなにかといふと、正規職員のように会議に出たり書類作成など細かな事務作業はありませんが、鍵閉め以外の時差勤務を担い、場合によっては自らクラスを引っ張るなど保育の現場では正規職員とほとんど同等の働きが期待されるポジションです。

分会内でもその待遇は長い間改善要求項目でした。あまりにも低い給料であることや、5年間の有期雇用であること、有給休暇は年間10日など様々な面で差があります。特に給料と休暇については深刻です。給料については言わずもがなですが、休暇は、有給が年間10日なので毎月有給を使うと当然足らなくなります。さらに病休は当然ないため、自分が体を壊したとき休むためには有給を使うしかありません。そのため普段、有給を使うことはどうしてもためら

いがちになります。

そんな状況を分会内で話し合いました。やはり「現場に出れば正規職員と同じような仕事を求められるのに、この給料は低すぎる」「何かあつたらと思うと怖くて有給はとれない」等の声が準職員のなかから上がりました。



### ～長年の頑張り

#### 粘りで要求実現～

元準職員の経験のある正規職員からも共感する声が多く聞かれました。それをまとめ要求書として理事会に何度も何度もだしました。そして「財源がありません」という判で押したような回答が続きました。

それが昨年度、急に理事会から待遇改善の提案がありました。この4月から準職員の月給が正規職員の85%から90%に、臨時職員の時給が850円スタート、最高900円

までだったのが、900円スタート最高950円に上げるというものでした。その財源には、一歳児を今までより一人多く保育するようになったため補助金が増額し、それを充てるとの説明でした。一人増えるといつても一歳児の一名増は決して易しいものではありません。分会内で話し合った結果「年度ごとにクラスの状況を考慮して職員体制を組むこと」を条件に提案に同意しました。

理事会が今回の提案をしてきた背景にもう一つ、賃金や時給が低くなかなか人が集まらないという状況もあるようです。たしかにそのような背景はあるかもしれません。しかし分会の長年の頑張り、粘りなくして理事会からの今回の提案は引き出せなかったと思います。分会では他にも夏期休暇や給食室の給料など要求項目はたくさんあります。これからも粘り強く要求し続けたいと考えています。

天白福祉会分会 分会長 内藤拓史

広範なつながりと

今回の名古屋市保育料値上げ問題の教訓は、「保育をよくするネットワークなごや」を中心に、保育関係者や地域のOB、労働者など多くの人が「市民運動」として盛り上げたことと諦めない姿勢です。

「公立保育園の廃止・民営化の是非を問う直接請求署名」の取り組みです。この時は1ヶ月で約13万筆の直接署名を集めました。その後2010年にも保育料値上げ反対の緊急署名を集め、値上げをストップさせていきます。

そして今回の値上げ問題では、子ども連れのお母さんのお母さんたちの切実な声が効きました。1・2月の議員訪問では、「気持ちは分かるが…」「保育関連の要望ばかりは聞けない」といった厳しい回答をする会派もありました。しかし繰り返しの議員訪問や3月に入つてからは毎週土曜に宣伝行動を行うなど、広く市民にアピールしつつ、「保育料を上げないで」と

## 臨時名古屋市議会と 財政福祉委員会を傍聴して 議会で可決された保育料値上

た大きな問題に対しても、諦めず広範な人々と手をつなぎ、跳ね返していくましょー!

自分自身も3人の子どもの父親であり、第3子無料制度の恩恵も受けています。勤務する今までのまえ保育園でも同じく恩恵を受けている家庭は全体の1割強あります。なので保育園の中でも、今回の値上げ案と制度改革について反対の声をたくさん

け案についての据え置きに、由長が再審を請求…。この暴挙に対し「みんなで集めたひとことに署名を無駄にしない為にも、市議会の傍聴席を直上げ反対の市民で埋め尽くそう」という保育ネットの呼びかけに臨時市議会傍聴に参加しました。

「猫アレルギーですが、猫  
猫と思いつきりたわむれるの  
右の銘は『笑う角には福来る

くまのまえ保育園分会から紹介は：保育士4年目にし  
代分会長「橋本真希さん（通す。ちよつとアピール点を聞  
く趣味はランニングと喫茶フェジやなくて、おじいちゃん集うような純喫茶が好きです。べられる野草についてです。ほほう。まつきーの趣味は増えます。ランニングも確かにたけれどヒーヒーいしながらような…。その前は山登り、近所の方の集う喫茶店に溶けた雰囲気を醸し出しています。初めて聞きました。おなか震

## 「シリーズ・名物組合員」 くまのまえ分会 橋本真希さん

「本当に腹が立つ！私達の分もお願い」と、市政への不満と共に激励の言葉をもらいました。そして議会の傍聴、共産党議員の発言にヤジを飛ばす市長が本当にヒドイ：怒りを通り越して呆れてしまつた。こういう人が自分達の市のトップだと思うと本当に腹立たしい。こういう場面は市民には伝わりないし…」

「くまのまえ初  
まつき」」「で  
てみたところ。  
めぐりです。力  
あばあちゃんが  
最近の興味は食  
く新しいものが  
近始めて……走つ  
つていってた  
いってたつけ。  
こむ、落ち着い  
ないようにな  
きです。いつか  
です。」  
「座

は、こちらが  
せてもらつて  
にはちようば  
るにはちようば  
写真のオニ  
にお父さんによ  
たそうです。

ほう……確かにちょっとしたことでウケてくれるのに嬉しいです。でも、卒園パーティーで踊った『ももクロ』でのキレのなさと『わざとでしょ?』と観衆に思わせる得意技の側転に

議会は15分程度で終了、「議会の決定には従わないからねな…」と吐き捨て退場した市長。その後に行われた「財政福祉委員会」にも参加しましたが、市長を推す1政党を除いて、全ての政党が市長の再審請求の内容は全く意味のない事として、多数で可決。市議会と打って変わつての爽快さに気分良く市役所を後にしました。

今後もまた、同様の事があると想いますが、父母との連帯を広げて立ち向かいたいと思ふます。皆さん共に頑張のましも。

笑いさせて頂きました（ぜひ見  
てね）。猫とほんわかたわむれ  
いいゆつたり感を持つっています。  
お面は、節分の担当になつた時  
り方を教えてもらつて一緒に作つ  
も、どうやら当時はお父さんと  
う口もききたくないっ！」って、  
後だつたそうで・・・。保育園の  
ならず、保育士としての自分に  
のつながりを深める保育」の実  
す。すばらし

貰の多いくま  
いりと、でも  
張つてくれ  
一。まつき一  
によかつた。  
してます！



## 正しく知ろう！

### 労働者・労働組合の基礎知識

(6)

Q. 労働組合ってなんのためにあるのでしょうか？

A. 新入組合員も多い時期ですので、今日は法にそって説明していきましょう。

#### 憲法第28条（労働者の団結権）

勤労者の団結する権利及び団体交渉その他団体行動をする権利は、これを保障する。

雇われの身の労働者は雇う側に対して一人では立場が弱いので、憲法で「団結して良い」と保障されています。それが労働組合です。

#### 労働組合法第1条（目的）

この法律は、労働者が使用者との交渉において対等の立場に立つことを促すことにより労働者の地位を向上させること、…云々。

憲法第28条を具体的に実行するために「労使対等」になれるよう「労働組合」があることを示しています。

#### 労働基準法第1条（労働条件の原則）

労働条件は、労働者が人たるに値する生活を営むための必要を充たすべきものでなければならない。

2. この法律で定める労働条件の基準は最低のものであるから、労働関係の当事者は、この基準を理由として労働条件を

低下させてはならないことはもとより、その向上を図るように努めなければならない。

ですから、「労働者（労働組合）」と「使用者」は労働条件を低下させてはいけないし、向上に努めなければいけないのです。

#### 労働基準法第2条（労働条件の決定）

労働条件は、労働者と使用者が、対等の立場において決定すべきものである。

2. 労働者及び使用者は、労働協約、就業規則及び労働契約を遵守し、誠実に各々その義務を履行しなければならない。

ここでもまた、「労使対等」が出てきます。労働条件は「労使対等」で決定するものですから、使用者が、説明もせず労働者の合意もたらす勝手に変更してはいけません。労働者も使用者の勝手な行為を許してはいけません。「気がつかなかった」は言い訳にしかなりません。

★私たちは、「良い仕事がしたい。」「この仕事を続けたい。」と思っています。その思いを実現させるために、「生き生きと働き続けられる職場作り」に取り組むのが労働組合です。ですから「労働組合」の活動の『肝(きも)』は働き続ける為の「要求討議」です。「要求討議」をまとめ→「要求書提出」→そしてそれを基にして、理事会との話し合い「団体交渉」で改善を探ります。



文字通り「アットホーム」な職場です

「保育園でずっと子ども達と一緒に過ごしてきたけれど、大規模・中規模デイサービスで皆さんと笑って過ごしていただけれど、けどけどやっぱり自分たちらしい何かをしたいよね」  
この思いを持った仲間が集まつて、NPOを立ち上げようとしましたところから始まりました。  
デイサービスをやろうと雨の日、風の日、雪の日物件探しツアーナーを楽しみました。廃屋のよきで古い家、雑草が置を突き抜けていたり、夜逃げをした坪庭のある料亭のような家に、ため息をつきながらもおいしいランチで気を取り直してさあ次へ。結局は灯台もと暗しで、探していった地域のおしゃべりサロン主催者の協力で、レトロな民家を利用した小さなデイサービス開

## デイサービス『いっぱい笑顔』ができました

所の道が開けました。

リフォームに頭を悩ませ、名

は笑いで吹き飛ばし、政治に怒りながら働くシニア世代中心の分会です。（高堂）

【編集後記】  
『風光る』の担当となり、半年が過ぎました。まだ手探りの状態ではあります、何をどう伝えるのかを考えることの面白さを感じているところです。その中で、デザインのことや記事内容のこと等、こうしていけたらな、これは留意しておきたいな」といったことも、かと思いつながりながら、名古屋で行なわれる会議にならぬか参加できない状況にある、名古屋市外及び少數の組合員・分会を紹介していくといふことがあります。そのひとつに、お詫びして訂正させていただきます。

機関紙編集委員会より  
先回3月号の記事の中に間違いがありました。  
(誤) ゆたか支部明石恵子  
(正) ゆたか支部明石慶子  
(E)

介護保険制度の貧しさが利用者さんとその家族の負担を重くしています。一人暮らしの方はもっと大変です。そのことに怒ることはせず、ただ毎日のケアに明け暮れてはにっこりもさつちもいきません。日常のあれこれ

古屋市介護保険課とのやりとりにドキドキしながら、内覧会・開所にこぎ着けました。定員9人のかわいらしいデイサービスです。ご近所づきあいの難しさはあるけれど、今の時代こそ小さな介護が求められていると実感しています。

自分たちらしいデイサービス、社会や政治の風が吹く働き方をしたい」

## 2013夏期組合学校 日時：6月29～30日（土日） 場所：東横イン中部国際空港

開校講演では東日本大震災の被災地の「今のは」を聞き、閉校講演では「憲法」を自分たちの生活に引き寄せて学ぶことができます。また、「労働組合」「財務諸表の見方」などの基礎的な学習もできます。

大事なことがギュギュッとつまつた今年の組合学校に、みんなで参加しよう！